



▲体育館に並んだ行灯を鑑賞する来場者。

平和を思う一日になりました

4回目となる「安来市平和のつどい」を9月29日、布部ふれあい体育館を主会場に開催しました。当日は悪天候のため会場を加納美術館周辺から変更。セレモニーでは、布部小学校や社日小学校の児童による「平和への歌とことば」などの発表を行いました。

会場には市民をはじめ、他市からも出展された、平和への思いを描いた行灯あんどんを展示。屋内開催となったため、点灯はできませんでしたが、来場者はそれぞれの作品を熱心に見て回りました。

家族と訪れた岩崎知巳さんは「毎年楽しみに来ています。行灯を見ていると、皆さんの素敵な思いを感じることができます」と話していました。



香港便利利用者にブドウをPR

外国人に対して安来産ブドウの需要調査を行うため9月26日、米子鬼太郎空港で生産者がPR活動を行いました。用意したのはブドウの最高級品と言われる「シャインマスカット」。同空港を発着する香港便の乗客に試食品を配ったり、箱入りの販売を行ったりしました。

香港の高級スーパーでは日本産フルーツが大人

だうん とぴっくす



まちの話題や出来事をご紹介します



中海ふれあい公園の開園式に参加した島田こども園の皆さん。衣装を着替え終えると、すぐに遊具に向かって飛び出していました。(10月1日)

今月の一枚



◀安来産シャインマスカットは、香港便利利用者から高評価を得ていました。

気。国内の主要産地からは香港への輸出も相次いでいます。今回は、お土産品としての動向を調べるために取り組んだものです。用意した房入りの20箱は売り切れるほど、反応も上々。生産者らは通訳を介して、試食の感想を聞いたりアンケート調査を行ったりしていました。

JAしまねやすぎ地区本部・ぶどう生産協議会の足立昌俊会長は「シャインマスカットは知名度が上がり、評価も高くなってきています。試食した人の表情を見ていると、とても好感触です。今後は香港・韓国を視野に安来産ブドウを積極的にPRしていきたいです」と意気込みを話していました。



◀「ポルカ・ドット・アコーディオン」の二人組が訪問。

アコーディオン奏者が課外事業

伯太地域の年長園児を対象にしたアコーディオン奏者のアウトリーチ事業（出前で普及活動）が10月5日、母里交流センターで行われました。訪問したのは、総合文化ホール「アルテピア」が開催しているハガネミュージックに出演するアーティストで、アコーディオン奏者の二人組です。

認定こども園母里の門脇翔大くんは「(ボタン式)アコーディオンはたくさんボタンがあってびっくりしました。初めて見た楽器で楽しかったです」と話してくれました。

古典の豪華共演、能と神楽

総合文化ホール「アルテピア」の1周年記念事業として、「能と神楽の共演『紅葉狩』」が9月30日に行われました。

この公演の見所は、同じ演目「紅葉狩」を「能」と「神楽」がそれぞれ演じるという点。ゆっくりとした動きの「能」と迫力ある動きの「神楽」。見た人にその違いと特徴を印象づけました。

米子市から観覧に来た林原陽子さんは「能と神楽の違いがはっきりわかり、普段と違った見方ができました。神楽は大迫力で見応えがありました」と話していました。



◀鬼を退治する場面(神楽)。



▲新たに「そば・うどん処尼子」が出店しました。

観光客の利便性が向上

月山富田城跡の麓にある道の駅「広瀬・富田城」が9月15日、リニューアルオープンしました。今後、富田城跡整備事業によって観光客の増加が見込まれることから、施設の利便性を向上させました。

今回の改修では、これまで別々に区切られていた織場・物産展示販売コーナーと飲食コーナーを一体化。さらにエントランスホールを設け、広々とした空間を歩き来しながら、伝統工芸の見学や買い物、飲食などを行うことができるようになりました。



▲洋画・デザイン・写真部門で85点が展示されました。

市民の美術作品が一堂に

市内の美術団体や高校生などが日頃から制作に取り組んでいる芸術作品。その発表と鑑賞の場をつくり、文化の振興を図る目的で、9月8日～13日に総合文化ホール「アルテピア」で安来市美術展を開催しました。

デザイン部門で新人奨励賞に選ばれた情報科学高校3年の矢田和^{のどか}さんは「自分の作品が選ばれるとは思わなかったので驚きました。作品は授業を受けているときに思いついたものです」とうれしそうに話していました。